

# 特許紹介

第28卷第6號 昭和17年6月

## トラス

(特許第148555號 發明者)  
(特許權者) 河野輝夫

格點に於て部材に働く引張力を直接部材自體で受けず、締付杆で受けしめ、以て格點に於て強力ならしめると共に構造を簡單ならしめ、小形部材を用ひて強力なる木造トラスを供給せんとするもの。

木製弦材(1)(1')の内側に1個若しくは2個以上の腹材(2)(2')の端面を當てる。兩者の共通透孔(4)(4')には先端に止片(5)(5')を備へた締付杆(3)(3')

圖-1. 側面圖

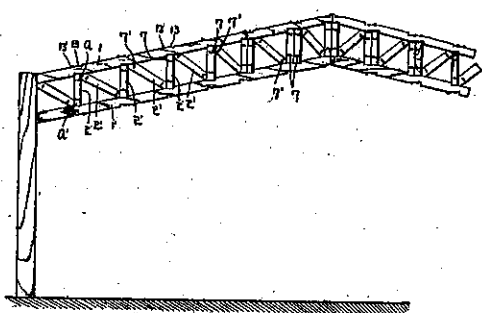


圖-2.

格點の拡大側面圖

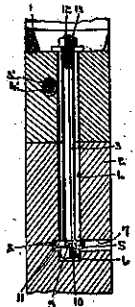


圖-3.

圖-2 A-A 線断面圖

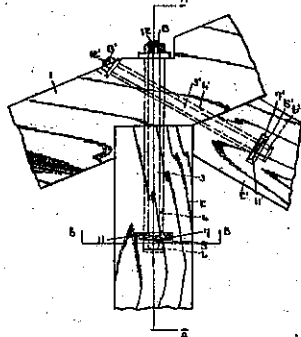
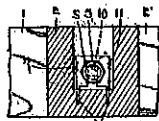


圖-4.

圖-2 B-B 線断面圖



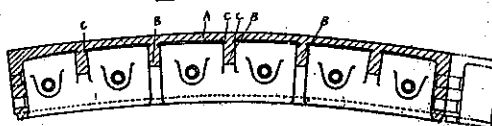
を止片と共に弦材外側より挿入する。腹材に横方向から穿設した透溝(7)(7')から止盤(11)(11')を挿入して前記止片(5)(5')を支承させる。然る後締付杆の末端を母螺(13)(13')等で緊締してトラスを構成するのである(圖-1~4)。

## 鑄鐵製セグメント施工法

(特許第145051號 發明者)  
(特許權者) 平谷純二

内側リブ附鑄鐵製セグメントに於て、リブ(B)はセグメント組立完了迄は必要なるも、完了後はコンクリート壁を添加するに際し著しく邪魔となるものである。仍つて此の發明は、リブの基部に溝(C)を設け置き、組立完了後は之を簡單に撤去せしめ、然る後に之にコンク

圖-5. 側面圖



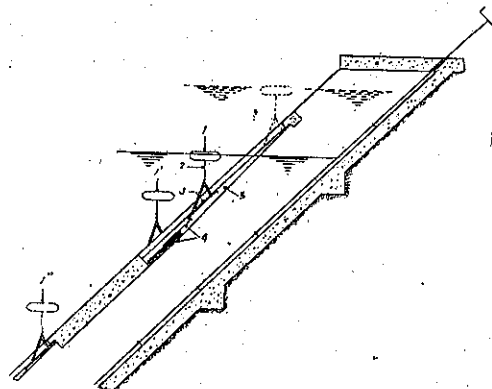
リートを壓入充填して斯る缺點を除去したものである(圖-5)。

## 樋管に於ける自動式表面水取入装置

(特許第148555號 發明者)  
(特許權者) 後藤興治

從來灌溉用の貯水池に於ける樋管は、小なるものは尺八樋管を用ひ、大量の水を取入れるものはスルースバルブ等を用ひた。尺八樋管は上より順次開口するが故に表面水を取入れ得る便利はあるが、木栓を抜くの在水中に入り又は急激に増水せる場合は木栓の閉鎖に困難を生じ且漏水多き不便がある。バルブを用ひる樋管は多くは水深10尺乃至20尺毎に設置し、従つて表面水より數度も温度低き水を流下せしめなければならぬ。又

圖-6. 側面圖



樋管内は空なるを以て水による外壓を受け従つて之に耐へうる工法を必要とし工事費を多額に要する缺點が

ある。此の発明は折る缺點を除去するを目的として考案したもので、水位の變動に拘らず常に表面水のみを取入れ、且其の操作を浮子により自動的に爲し得るやうにしたものである。

圖-6, 7 に示す如く、浮子 (1) (1') と之等に夫々連結杆 (2) を以て連結せしめた第一遮水板 (3) と、更に第一遮水板 (3) に順次係合せる第二第三... 遮水板 (4) とより成るもので、第二第三... 遮水板 (4) と、第一遮水板との係合構造は圖-8 に示す如くである。水は浮子と第一

圖-7. 正面圖

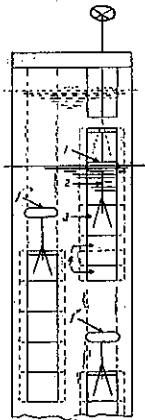
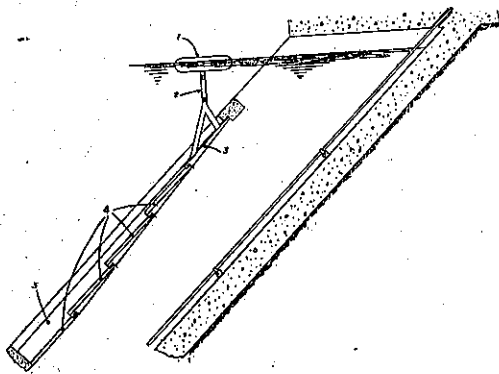


圖-8.



遮水板との間より吞下される。

水位が低下するに従ひ浮子が下降し、之に従ひ第一遮水板 (3) が下降する。之が下降し切れれば、第二遮水板 (4) を係合せしめて浮子 (1) は更に沈下する。斯くて浮子 (1) が全遮水板を重畳降下し終れば、浮子 (1') が作用するに到るのである。

(附) 登録實用新案

杭打用杭壓入装置

(登録第 307919 號 出願公報昭和 16 年第 9022 號)  
考案者 (實用新案権者) 東郷外入

圖-9, 10 参照。索條 (15) を捲取る事により壓入滑車 (11) (12), 缸體 (5), 油壓機 (4), 臺部 (1) を介して杭を壓入し、硬質土壌に對しては打錘装置に依り搗打頭部 (2) を打ち、若くは索條に依る壓入作用とを併用し得べからしめる。最後に油壓機に 高壓油を注入して杭を

一層壓入し而も其の際の壓力を壓力計に依り直讀し得るやうにしたもの。

圖-10.

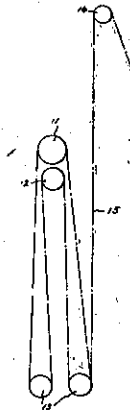
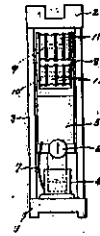


圖-9.



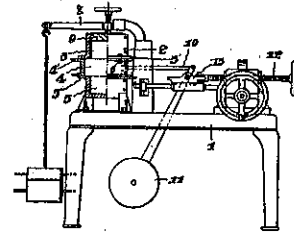
土質剪斷試験機

(登録第 308256 號 出願公報昭和 16 年第 8482 號)  
考案者 (實用新案権者) 豊田清純

圖-11 参照。試験土質を三割箱 (2) 内に充填し、レバー (8) に依り上箱 (3) 内の蓋板 (9) に適當の上下壓を加へ乍ら中箱 (4) を

圖-11

押し抜き此の際の土質の抵抗力を振子 (11) の振れにより測定するもの。上箱 (3) と下箱 (5) とは鋸状突縁 (3') (5') の合着により一體に形成せられ、中箱 (4) は下箱 (5) の上半部の前後兩邊の切除部に抽斗狀に挿入せられ、中箱 (4) の押抜きにより上箱 (3) と下箱 (5) とが歪む事なく容易に摺動する。

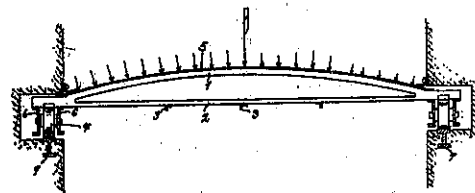


アーチ型ビーム式水門

(登録第 308744 號 出願公報昭和 16 年第 11263 號)  
考案者 遠山幸三 (實用新案権者) 田原製作所

圖-12 参照。一般に水門扉に作用する水壓は等布直面積重なるが故に、アーチ型ビームは之を支承するに最

圖-12.



も都合よき形状である。本考案は 斯るアーチ型ビームを主桁 (1) とし、其の両端を薬材 (2) にて連結せる扉框に遮水板 (5) を定着せしめて、資材の節約運轉の容易を圖つたもの。

**コンクリート管可撓接手**

(登録第 308703 號 出願公告昭和 16 年第 11044 號)  
(考案者 (實用新案權者) 中西隆太郎)

圖-13 参照。接手部に間隔 (a) 及 (b) を受けて可撓的ならしめたもの。圖中 (7) は、套管 (6) の半分をコンクリート管 (1) に固着せしめたる接着剤を示す。

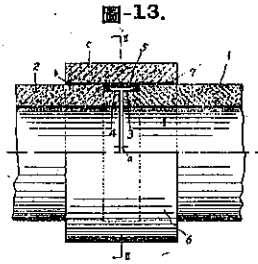


圖-13.

**水門捲揚装置**

(登録第 308750 號 出願公告昭和 16 年第 9926 號)  
(考案者 林寛之 (實用新案權者) 東京石川島造船所)

圖-14 に示す如き綱索配置を採用するもので、單に一個の捲揚機 (12) により制水扉 (1) を不均衡なく且綱索の抵抗少くして輕快に昇降操作せんとするもの。

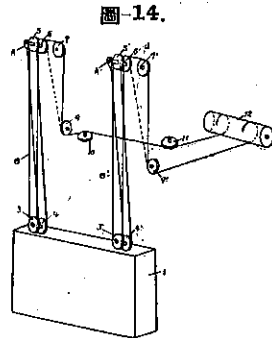


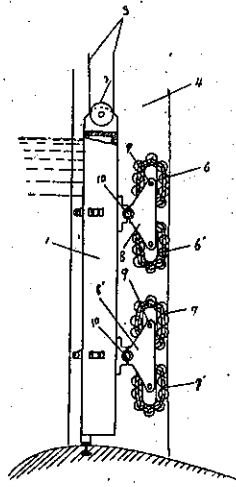
圖-14.

**無限ローラ式制水扉**

(登録第 308851 號 出願公告昭和 16 年第 9927 號)  
(考案者 林寛之 (實用新案權者) 東京石川島造船所)

圖-15 参照。制水扉の後面に少くとも 2 個若くは夫れ以上の無限ローラー (6) (6') 及 (7) (7') を 1 組としてローカービーム (8) (8') を介して搖動的に装着せし

圖-15.



めたもの。之に依り全體のローラートレーンに對し制水扉上加はる全水壓を夫々均等に分配せしめ得る利點がある。